

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (天竜流域)

1 流域の特色（国有林 23千ha、民有林 112千ha）

① 本流域は、静岡県西部地方に位置し、天竜川の中下流と太田川流域および浜名湖周辺部からなっており、浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、菊川市、湖西市、御前崎市の7市と周智郡森町、浜名郡新居町の2町を包括する総面積241千ha、森林面積134千haの流域である。

また、森林の現況は、人工林が68%、天然林が29%、その他が3%で人工林の割合が極めて高く、古くからスギを主体に人工造林が活発に進められてきた地域である。

② 第1次産業から第3次産業までバランスよく集積された流域であり、林業においても「天竜美林」に代表される地域が所在している。

この流域における国有林の面積は22,676haで森林面積に占める割合は17%であり、特に浜松市に流域内の国有林の94%が賦存している。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

- ① 国有林材（地域材）の利用促進
- ② 低コスト作業システム等の推進
- ③ 鳥獣被害対策の推進
- ④ 広葉樹造林の試験・検証
- ⑤ 下流住民等に対する情報提供・林業体験活動等の推進

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

① 本流域は、林業の活性化に力を入れており、浜松市を中心とする大口需要者への地域材の販売促進とそれに対応する、定時、定量、定価格で供給する体制の確立に向け進めている

② 国有林の有する生産技術の情報提供、講習会の要望、一般市民向けの森林環境教育、体験林業の要望がある。

4 国有林野事業が率先して行う取組

① 計画的な木材供給の推進

ア) 目標

流域での間伐材の利用促進

イ) 連携・協力機関

県、市、流域林業活性化センター

ウ) 取組方向

・システム販売による安定供給を図る。

- ・当署で開催するイベント等、他機関で開催するイベント、協議会等に参加し国有林材のPRに努める。

② 森林施業の効率化・共通化等の取組

ア) 目標

低コスト作業システムの推進

イ) 連携・協力機関

流域林業活性化センター

ウ) 取組方向

流域林業活性化センターで主催する研修会等に参画する。

③ 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業者の育成

ア) 目標

新たな技術開発のための検討会の開催、緑の雇用等への協力

イ) 連携・協力機関

流域内林業事業者、流域林業活性化センター

ウ) 取組方向

- ・国有林を研修フィールドとして活用し、生産技術の普及・啓発に努める。
- ・広葉樹造林による森林造成に取り組む。

④ 安全・安心への取組

ア) 目標

一般市民を対象とした森林整備地、治山事業地の見学

イ) 連携・協力機関

流域林業活性化センター

ウ) 取組方向

国有林現地見学会等を企画、実施する。

⑤ 生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標

鳥獣被害対策の推進

イ) 連携・協力機関

県、市

ウ) 取組方向

県等と連携し、鳥獣被害対策を実施する。

⑥ 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標

教育関係機関と連携した森林環境教育の推進

イ) 連携・協力機関

関係教育機関、市

ウ) 取組方向

小学校、中学校生徒を対象とした森林環境教育の実施、高校生を対象にした体験林業の実施、協力を努める。

流域名・流域番号	天竜流域（75）	担当部署	天竜森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		